

1. 小規模事業者政策の検討にあたって

我が国の中長期的な構造変化（高齢化、海外との競争の激化、IT技術の発達による流通構造の変化、働き方の変容、地域経済の疲弊等）

→ 特に小規模事業者は、大企業や中規模企業と比較してその商圏及び取り扱う財・サービスが限定されていることから、自らを取り巻く経済社会情勢の影響を受けやすく、迅速にこれらの構造的変化に対応して自らを変革していくことが不可欠

=小規模事業者に対しても中小企業施策を適用する現在の施策体系では十分ではなく、小規模事業者の意義、課題、固有の特徴を分析し、これに応じて、小規模事業者を中心に据えた政策体系を構築する必要

2. 小規模事業者の意義及び現状

＜小規模事業者の意義＞

- ① 国内外のニッチな需要の開拓
- ② 創業等を通じた個人の能力の発揮
- ③ 地域経済の活性化

＜小規模事業者の現状＞

経済社会情勢の変化に伴う売上減少、中規模企業との格差の拡大

3. 小規模事業者の課題

＜創業＞

- ① 創業予備軍の掘り起こしの必要性
- ② 起業前後の様々な支援の必要性
- ③ 場の提供の必要性

＜地域での持続的経営＞

- ① 顧客の視点に立った商品・サービスの提供の必要性
- ② 雇用の維持等の観点から事業を継続する必要性
- ③ 面的な支援や連携の必要性

＜成長志向型活動＞

- ① 更なる生産性及び付加価値向上の必要性
- ② 海外展開への対応
- ③ 情報発信・売り込みの強化

＜事業承継・廃業＞

- ① 多様な人材の参画の必要性
- ② ビジネスモデルの見直しの必要性

4. 小規模事業者支援のあり方

- ① 支援機関のあり方： 支援機関の間の役割分担、支援内容の強化
- ② 行政機関のあり方： 国による一貫した支援、地方公共団体との連携

5. 小規模事業者政策の考え方

＜小規模事業者支援の必要性＞

- ① 価格競争力・リスク競争力の弱さ、情報の非対称性による不利益
- ② 経営者の高齢化・後継者不足が経営に直結、新たな人材の不足
- ③ 商圏が狭いことから地域の環境変化に対して脆弱

→ 小規模事業者の振興の必要性

小規模事業者が社会経済情勢の変化に即応し、多様な関係者とのネットワークの中で、ビジネスモデルを変革しながら持続的な発展を遂げるための支援

＜小規模事業者の4つの課題＞

1. 需要の変化・減少に対応する売上の維持・拡大が最大の課題
2. 経営層の高齢化・雇用者数の減少に伴う廃業の増加・開業の停滞
3. 地域全体の活力の低下に対応しての小規模事業者振興と地域経済の活性化の必要性
4. 経営課題の複雑化・多様化・高度化に対応して334万者に支援施策をきめ細かく届ける体制の必要性



＜小規模事業者対策の方向性＞

小規模事業者

1. 顔の見える信頼関係をより積極的に活用したビジネスモデルの再構築
2. 多様な人材・新たな人材の活用による事業の展開・創出
3. 地域のブランド化・にぎわいの創出（クリティカル・マスを超える注目度の創出・演出）

支援機関

1. 事業者の課題を自らの課題ととらえたきめこまかな対応
2. 支援機関・行政の総力をあげた高度な支援

国・地方自治体

1. （事業者の小ささに着目した、着実かつ円滑な事業運営の支援
2. 極めて多数の主体への有効な支援策の実施